

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和 5 年度農作物病害虫発生予察情報について

令和 5 年度農作物病害虫発生予察特殊報第 1 号を発表したので送付します。

令和 5 年度農作物病害虫発生予察特殊報第 1 号

令和 5 年 7 月 2 1 日
徳 島 県

- 1 病害虫名： トマトキバガ (チョウ目キバガ科) *Tuta absoluta* (Meyrick)
- 2 特殊報の内容： 徳島県内での誘殺成虫の初確認
- 3 発生地域： 県中央部
- 4 発生概況
令和 5 年 6 月 30 日、徳島県阿波市のトマト栽培ほ場周辺に設置したトマトキバガの侵入調査用のフェロモントラップにおいて、誘殺された蛾の成虫 (図 1) を神戸植物防疫所に同定依頼した結果、本県では未発生のトマトキバガであることが判明した。
現在のところ、県内では農作物における発生及び被害は確認されていない。
本種は、南アメリカを原産とする外来種で、国内では、2021 年 10 月に熊本県、同年 12 月に宮崎県のトマトほ場で発生が確認された。それ以降、これまでに計 18 道県でトラップによる誘殺が報告されている。
- 5 形態及び生態
 - (1) 成虫は、翅を閉じた静止時で体長 5～7 mm (前翅長約 5 mm、開張約 10mm) の小型の蛾である。前翅は灰褐色の地色に黒色斑が散在する。後翅は一様に淡黒褐色で、翅頂下がえぐれる。
 - (2) トマト、なす、ピーマン、ばれいしょ等のナス科植物が主要な寄主植物である。マメ科のインゲンマメも寄主植物として確認されている。
 - (3) 1 年に複数の世代が発生し、繁殖力が高い。発生世代数は、環境条件によって異なり、年に 10～12 世代発生する地域もある。
 - (4) 卵～成虫になるまでの期間は、24～38 日程度で、気温が低い時期はさらに延びる。
 - (5) 成虫は夜行性で、日中は葉の間に隠れていることが多く、雌は一生のうちに平均約 260 個の卵を寄主植物の葉の裏面などに産み付ける。
 - (6) 幼虫は 1 齢から 4 齢までの生育ステージがあり、土中や葉の表面で蛹化する。

6 被害の特徴

トマトでは、茎葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成される。果実では、幼虫がせん孔侵入して内部組織を食害するため、品質が著しく低下する（図3）。葉の食害部分は表面のみ残して薄皮状になり、白～褐変した外観となる（図4）。

7 防除対策

- (1) ほ場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- (2) トマトキバガの発生が疑われた場合は、病虫害防除所(TEL 088-674-1954)に連絡する。
- (3) 発生を拡大させないため、薬剤散布を行うとともに、被害葉や被害果実はほ場に放置せず速やかに土中に深く埋没するか、ビニル袋などに入れて一定期間密閉し、寄生した成幼虫を全て死滅させ、適切に処分する。
- (4) トマトキバガに対する登録農薬は表1のとおりである。
また、植物防疫法第29条第1項に基づく措置として、表2に記載された農薬による防除を行うことができる。
なお、薬剤散布にあたっては、薬剤抵抗性の発達を防ぐため系統が異なる薬剤のローテーション散布を行う。

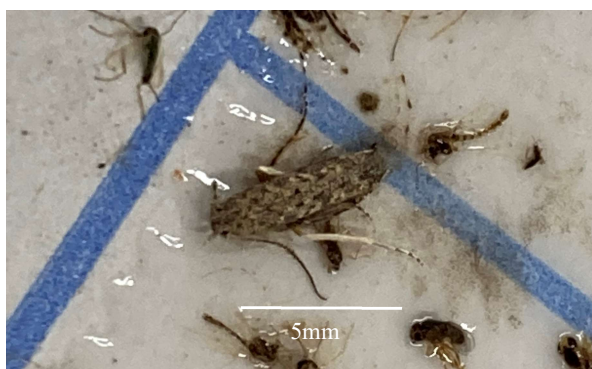


図1 県内で誘殺されたトマトキバガ成虫



図2 トマトキバガ幼虫



図3 トマト果実の食痕（飼育個体）



図4 トマト葉の食痕（飼育個体）

※ 図2～4は農林水産省植物防疫所原図。
無断転載を禁ずる。

表1 トマトキバガに登録のある薬剤（トマト及びミニトマト）

農薬名称 (商品名)	使用時期	希釈倍数 または使用量	散布液量	使用方法	本剤の 使用回数	RAC コード	トマト登録	ミニトマト 登録
ブリロッソ粒剤	育苗期後半 ～定植時	2g/株	—	株元散布	1回※	28	◎	◎
ブリロッソ粒剤オメガ	育苗期後半 ～定植時	2g/株	—	株元散布		28	◎	◎
ベリマークSC	育苗期後半 ～定植当日	400株当り25mL	400株当り10～20L (1株当り25～50mL)	灌注		28	◎	◎
アクセフロアブル	収穫前日まで	1000倍	100～300L/10a	散布	3回以内	22B	◎	◎
アグリメック	収穫前日まで	500～1000倍	100～300L/10a	散布	3回以内	6	◎	×
アフーム乳剤	収穫前日まで	2000倍	100～300L/10a	散布	5回以内	6	◎	◎
エスマルクDF	発生初期(但し、 収穫前日まで)	1000倍	100～300L/10a	散布	—	11A	◎	◎
グレーシア乳剤	収穫前日まで	2000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	30	◎	◎
コテツフロアブル	収穫前日まで	2000倍	100～300L/10a	散布	3回以内	13	◎	◎
ダブルシューターSE	収穫前日まで	1000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	5	◎	◎
ディアナSC	収穫前日まで	2500～5000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	5	◎	◎
トルネードエースDF	収穫前日まで	2000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	22A	◎	×
フェニックス顆粒水和剤	収穫前日まで	2000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	28	◎	◎
ブレオフロアブル	収穫前日まで	1000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	UN	◎	◎
ベネピアOD	収穫前日まで	2000倍	100～300L/10a	散布	3回以内	28	◎	◎
ヨーバルフロアブル	収穫前日まで	2500倍	100～300L/10a	散布	3回以内	28	◎	◎
ラディアントSC	収穫前日まで	2500～5000倍	100～300L/10a	散布	2回以内	5	◎	◎

※ ベリマークSC、ブリロッソ粒剤、ブリロッソ粒剤オメガは同一成分のためいずれかを1回

表2 植物防疫法第29条第1項の規定により使用できる薬剤

以下に記載した農薬はトマトキバガに対して登録はないが、植物防疫法第29条第1項の規定による防除を行うために使用が可能である。

また、使用にあたっては購入した農薬の適用作物、使用方法、使用時期、散布液量、希釈倍率使用量、使用回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることはない。

ばれいしょ

商品名	RACコード
エルサン乳剤	1B
ジェネレート水溶剤	1B
パダン粉剤DL	14
ミクロデナボン水和剤85	1A
モスピラン顆粒水溶剤	4A

なす

商品名	RACコード
アーデント水和剤	3A
アタブロン乳剤	15
アニキ乳剤	6
アフーム乳剤	6
カスケード乳剤	15
グレーシア乳剤	30
コテツフロアブル	13
スピノエース顆粒水和剤	5
ディアナSC	5
フェニックス顆粒水和剤	28
ブレバソフロアブル5	28
マッチ乳剤	15
ミネクトデュオ粒剤	28,4A
ヨーバルフロアブル	28

ピーマン

商品名	RACコード
アグロスリン水和剤	3A
アタブロン乳剤	15
アディオン乳剤	3A
アニキ乳剤	6
アフーム乳剤	6
カウンター乳剤	15
カスケード乳剤	15
グレーシア乳剤	30
コテツフロアブル	13
スピノエース顆粒水和剤	5
ディアナSC	5
トルネードエースDF	22A
ファルコンフロアブル	18
フェニックス顆粒水和剤	28
ブレオフロアブル	UN
ブレバソフロアブル5	28
マッチ乳剤	15
マトリックフロアブル	18
ランネート45DF	1A